

## 第Ⅲ部 調査結果の詳細

### 【報告書を読む際の注意】

- (注1) 小数第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が全体の計に一致しないことがある。
- (注2) 「n」は「number of case」の略で、質問に対する回答者の総数を表す。
- (注3) 図中「0」、表中「-」は皆無を示す。
- (注4) 図表中の選択肢は、回答率の高い順に並び替えている場合がある。また、表記の語句を短縮・簡略化している場合がある。
- (注5) 《 》は、2つ以上の選択肢を合わせて分析する場合に用いる。また、この場合の比率は実際の回答者数の合計から算出しているため、個々の比率の単純な合計とは値が異なる場合がある。
- (注6) 男女の18～19歳などのサンプル数の少ない属性については参考値であり、グラフ上で数値が高いものでも有意差がない場合がある。
- (注7) 【地域別の状況】【性・年代別の状況】の図表では、地域や性・年代が不詳の者がいるため、内訳の合計が全体の回答者数と異なっている。



# 第1章 くらし全般について【問1～問5】

## 1 生活総合満足度【問1】

### 【全体の状況】

現在の生活全般についてどの程度満足しているか尋ねたところ、「たいへん満足している」(7.0%)と「どちらかといえば満足している」(49.8%)を合わせた《満足している》は56.8%であった。

一方、「たいへん不満である」(4.9%)と「どちらかといえば不満である」(14.1%)を合わせた《不満である》は19.0%で、《満足している》が《不満である》を37.8ポイント上回った。

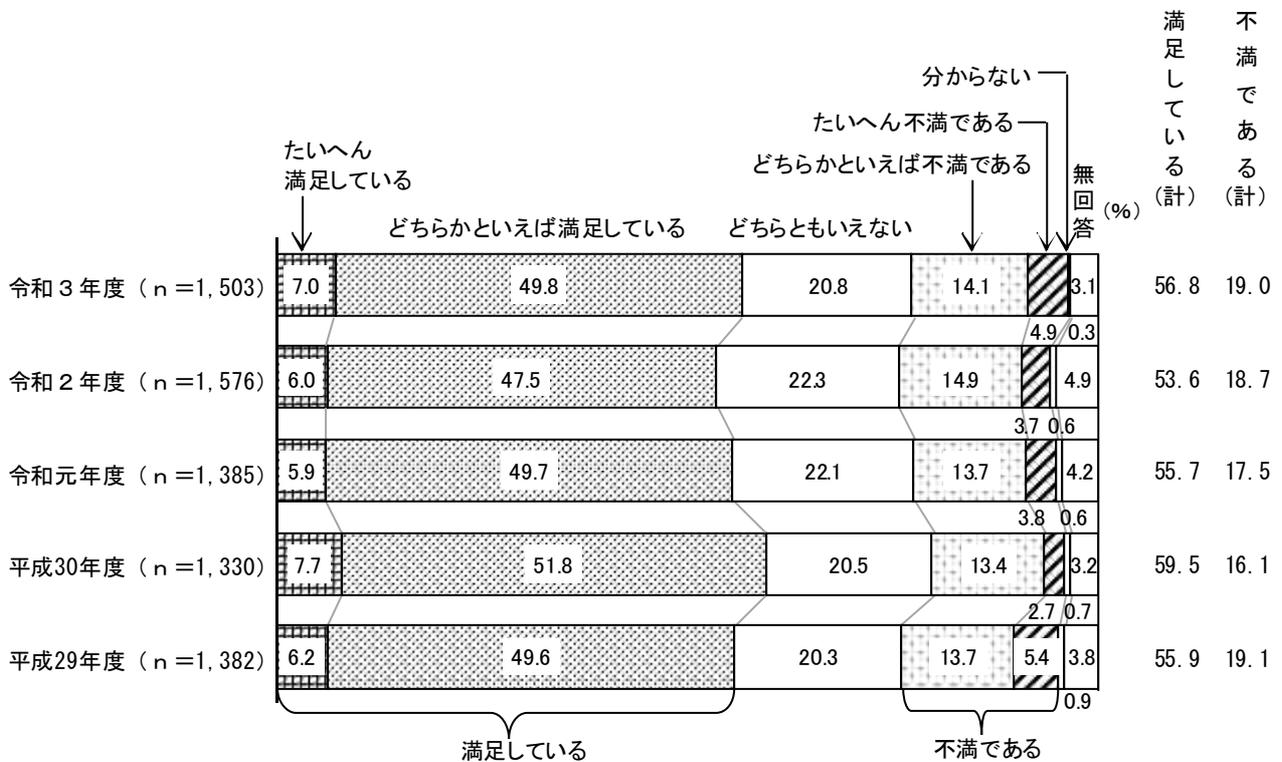
また、「どちらともいえない」は、20.8%であった。(図表1-1-1)

### 【過去との比較】

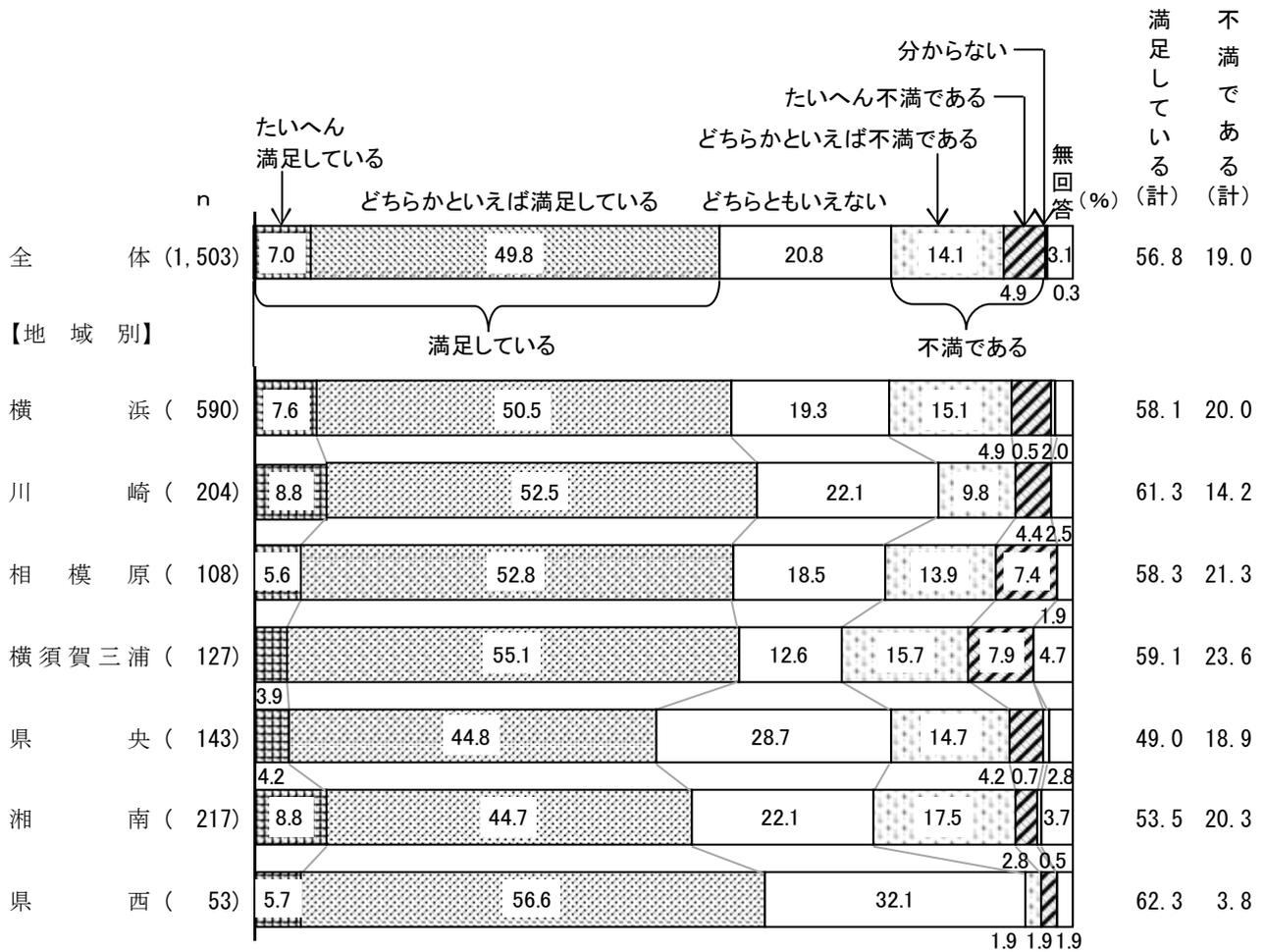
過去の調査と比較すると、《満足している》では、令和2年度は令和元年度と比べて2.1ポイント減(55.7%→53.6%)で、令和3年度は令和2年度と比べて3.2ポイント増(53.6%→56.8%)となった。

一方、《不満である》では、令和2年度は令和元年度と比べて1.2ポイント増(17.5%→18.7%)で、令和3年度は令和2年度と比べて0.3ポイント増(18.7%→19.0%)となった。(図表1-1-1)

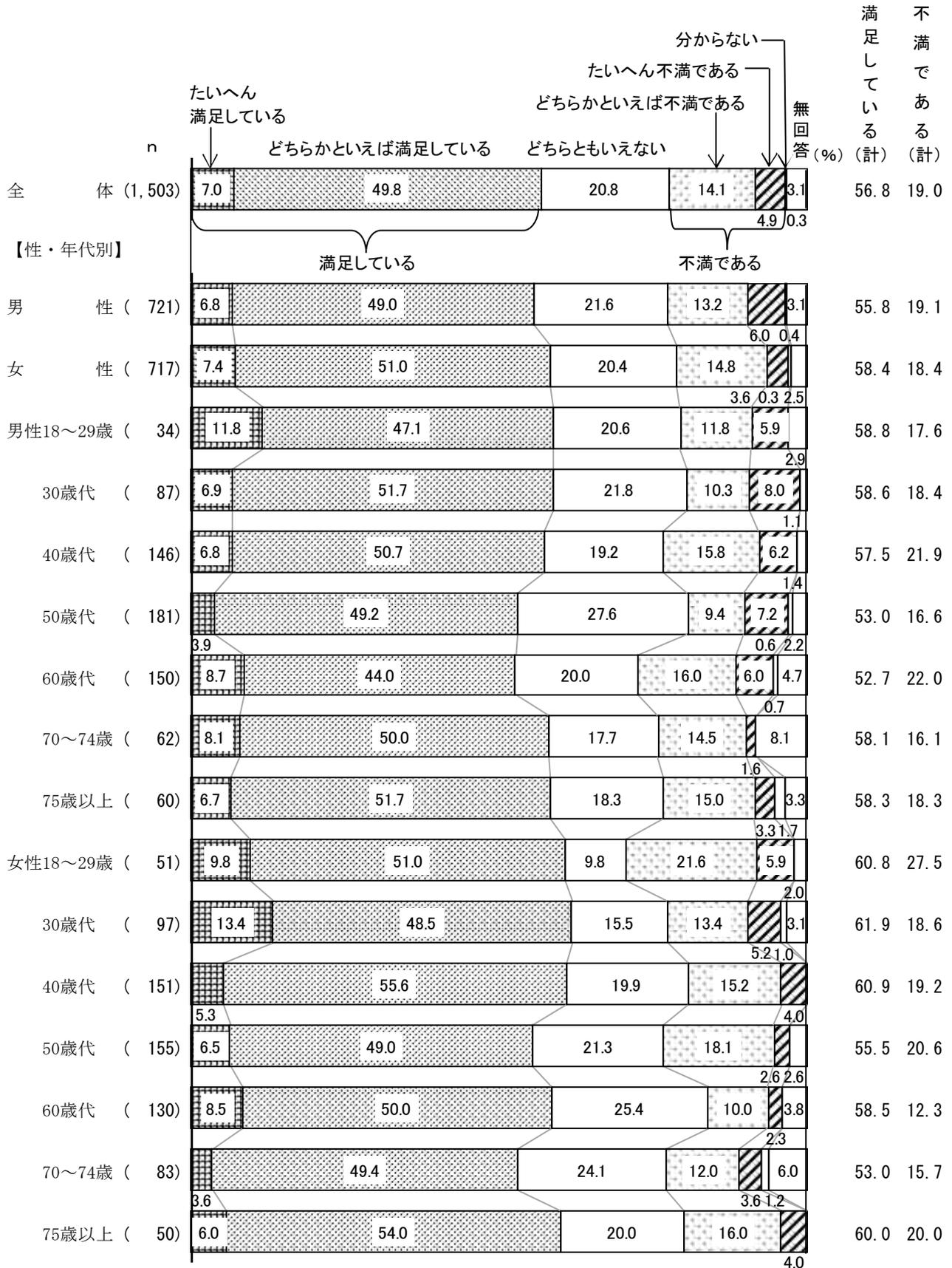
図表1-1-1 生活総合満足度—過去との比較



図表1-1-2 生活総合満足度—地域別



図表1-1-3 生活総合満足度－性・年代別



## 2 暮らし向きの変化【問2～問2-1】

### 【全体の状況】

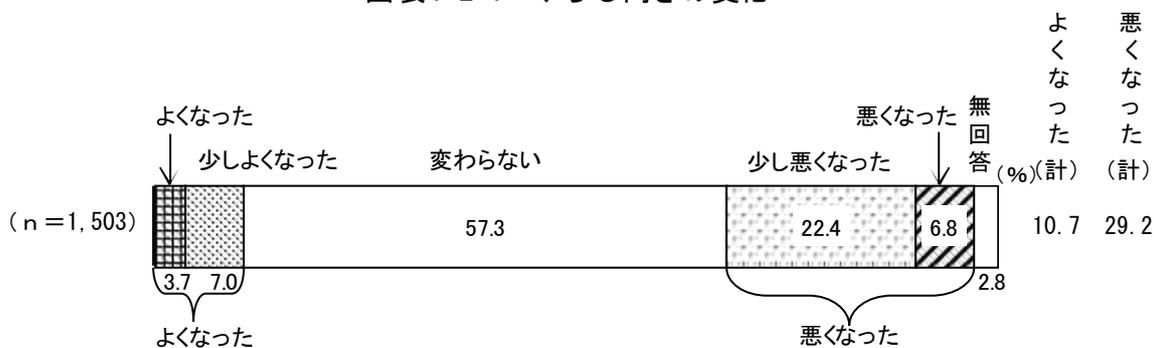
昨年と比較した現在の暮らし向きの変化について尋ねたところ、「よくなった」(3.7%)と「少しよくなった」(7.0%)を合わせた《よくなった》は10.7%であった。

一方、「悪くなった」(6.8%)と「少し悪くなった」(22.4%)を合わせた《悪くなった》は29.2%で、《悪くなった》が《よくなった》を18.5ポイント上回った。

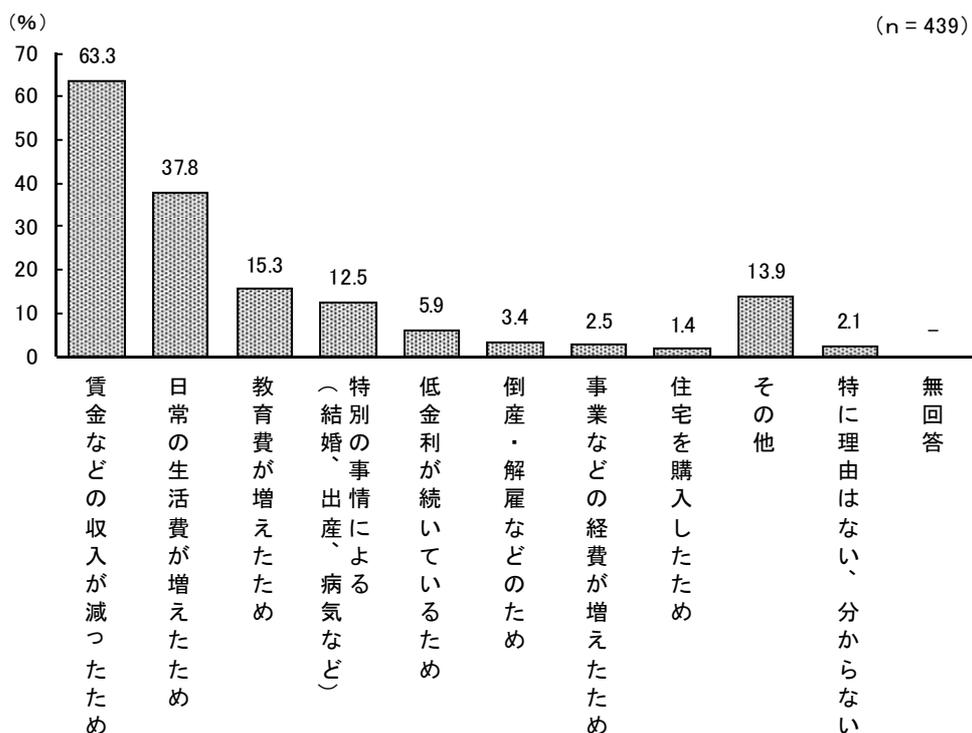
また、「変わらない」は、57.3%であった。(図表1-2-1)

暮らし向きが《悪くなった》と回答した439人に、その理由を複数回答で尋ねたところ、「賃金などの収入が減ったため」が63.3%で最も多く、次いで「日常の生活費が増えたため」が37.8%であった。(図表1-2-2)

図表1-2-1 暮らし向きの変化



図表1-2-2 暮らし向きが悪くなった理由(複数回答)

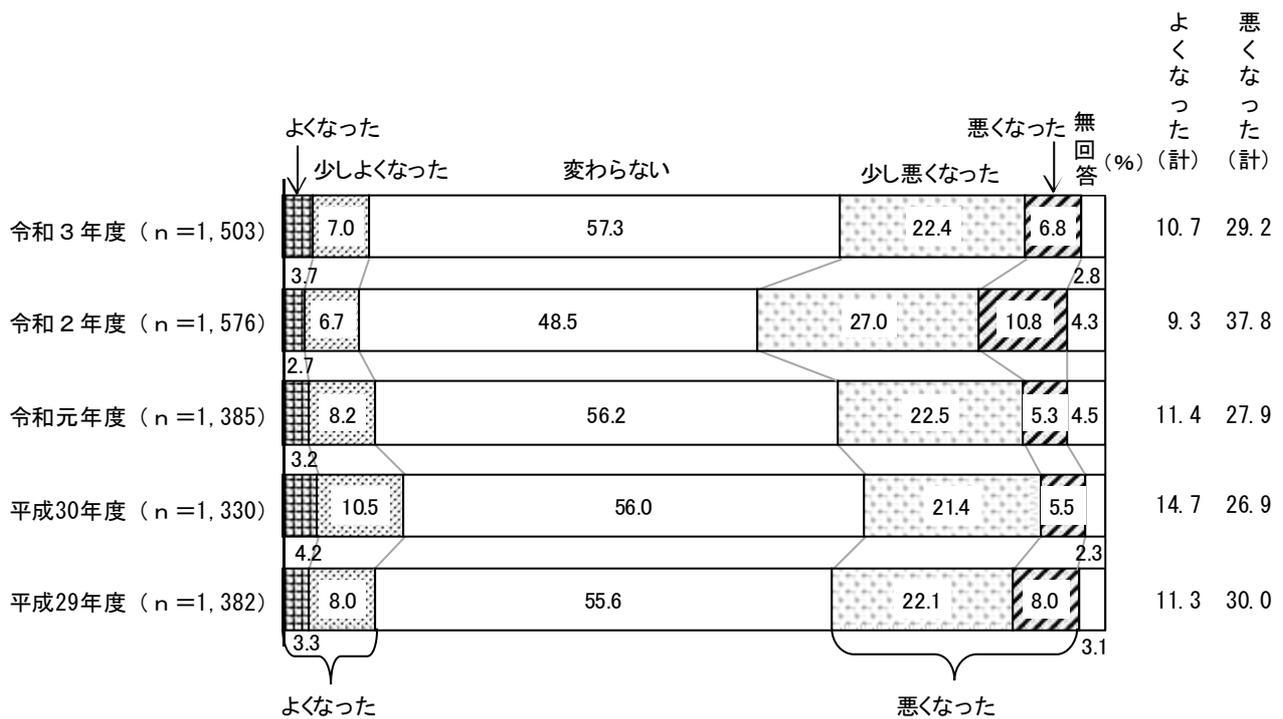


【過去との比較】

くらし向きの変化を過去の調査と比較すると、《よくなった》は、令和2年度は令和元年度と比べて2.1ポイント減（11.4%→9.3%）で、令和3年度は令和2年度と比べて1.4ポイント増（9.3%→10.7%）となった。

一方、《悪くなった》は、令和2年度は令和元年度と比べて9.9ポイント増（27.9%→37.8%）で、令和3年度は令和2年度と比べて8.6ポイント減（37.8%→29.2%）となった。（図表1-2-3）

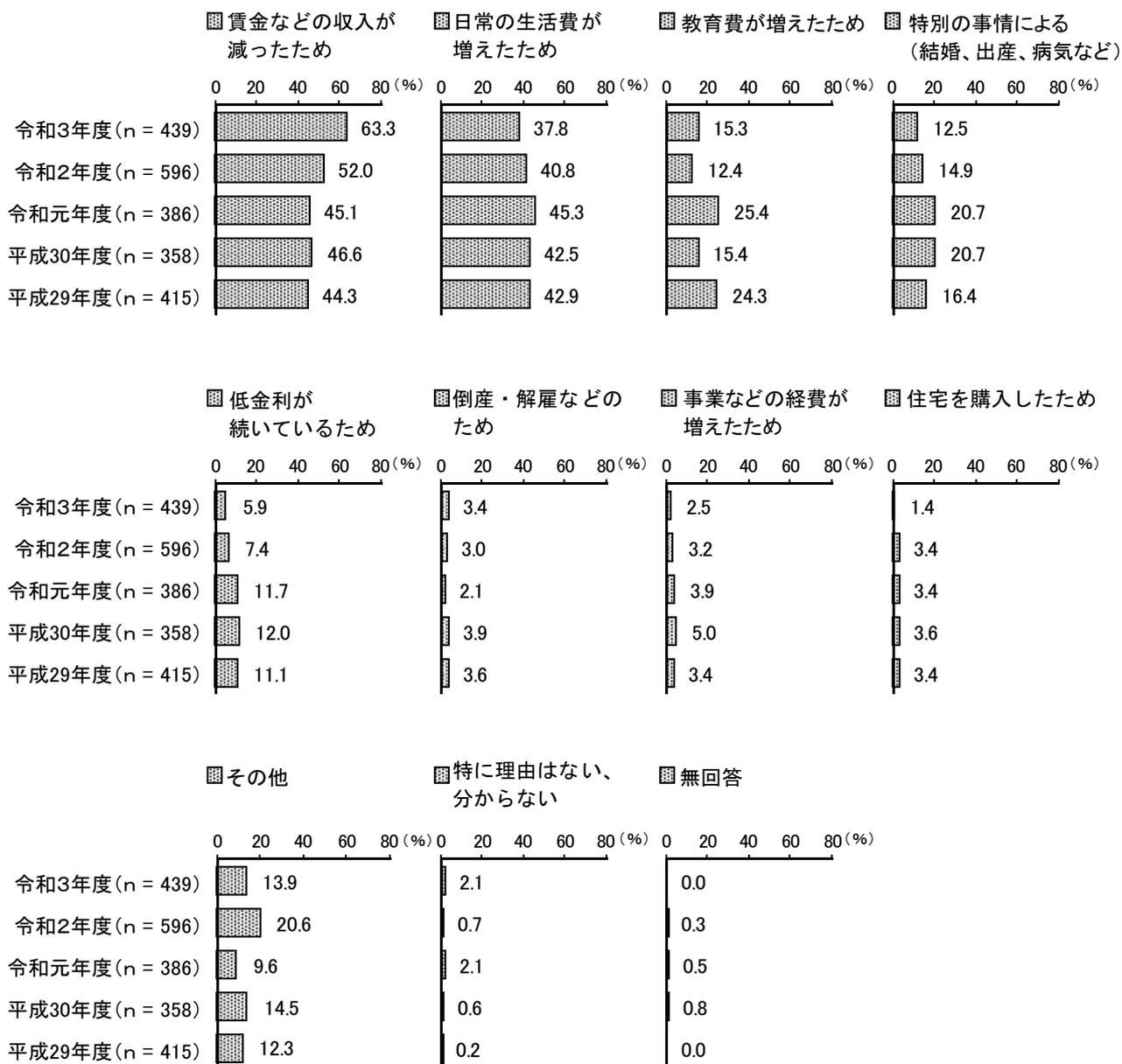
図表1-2-3 くらし向きの変化－過去との比較



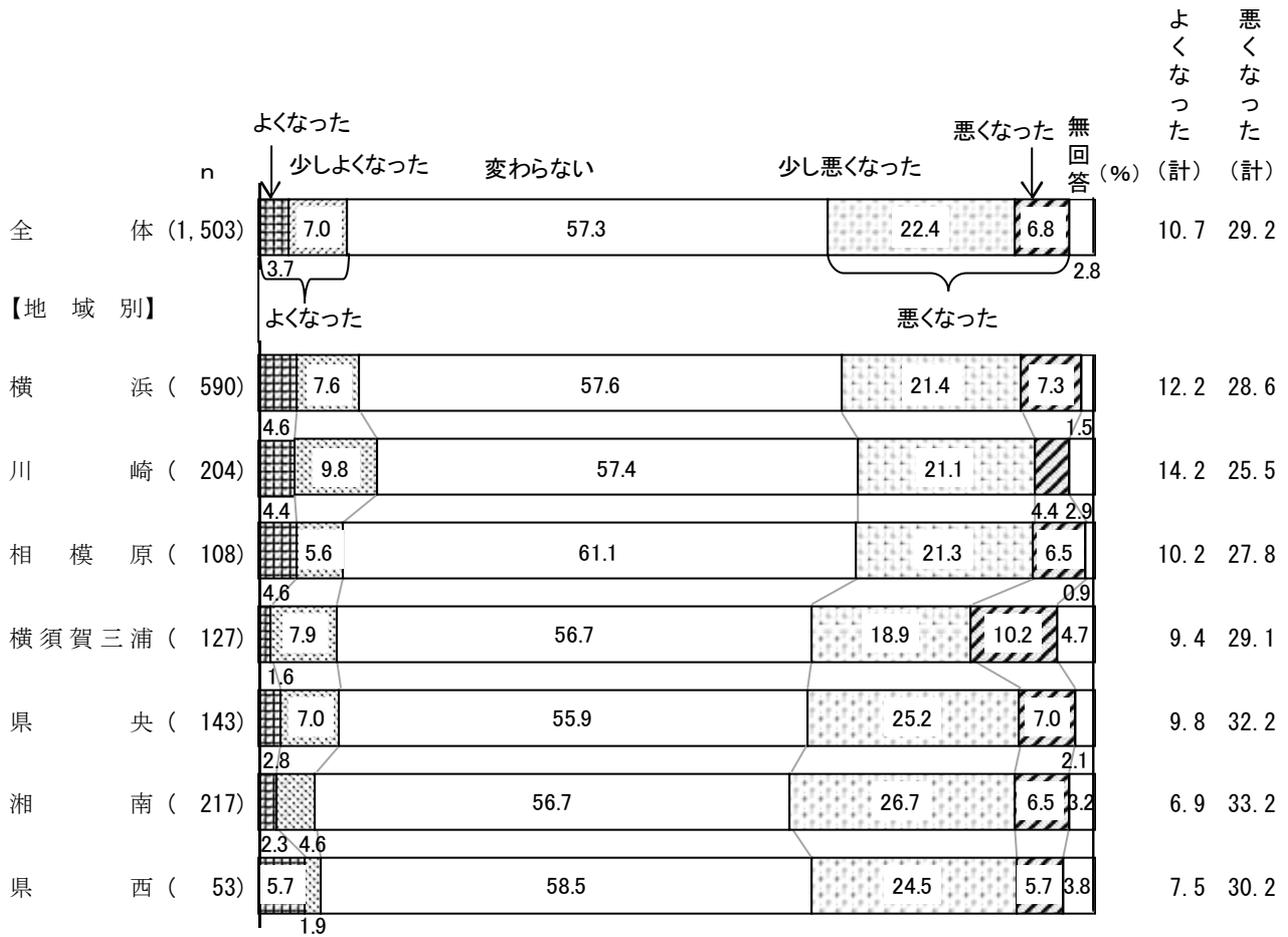
暮らし向きが《悪くなった》理由を過去の調査と比較すると、「賃金などの収入が減ったため」は、令和2年度と比べて11.3ポイント増(52.0%→63.3%)となり、最も増加した項目であった。

一方、「日常の生活費が増えたため」は、令和2年度と比べて3.0ポイント減(40.8%→37.8%)となり、最も減少した項目であった。(図表1-2-4)

図表1-2-4 暮らし向きが悪くなった理由（複数回答）－過去との比較



図表1-2-5 暮らし向きの変化—地域別

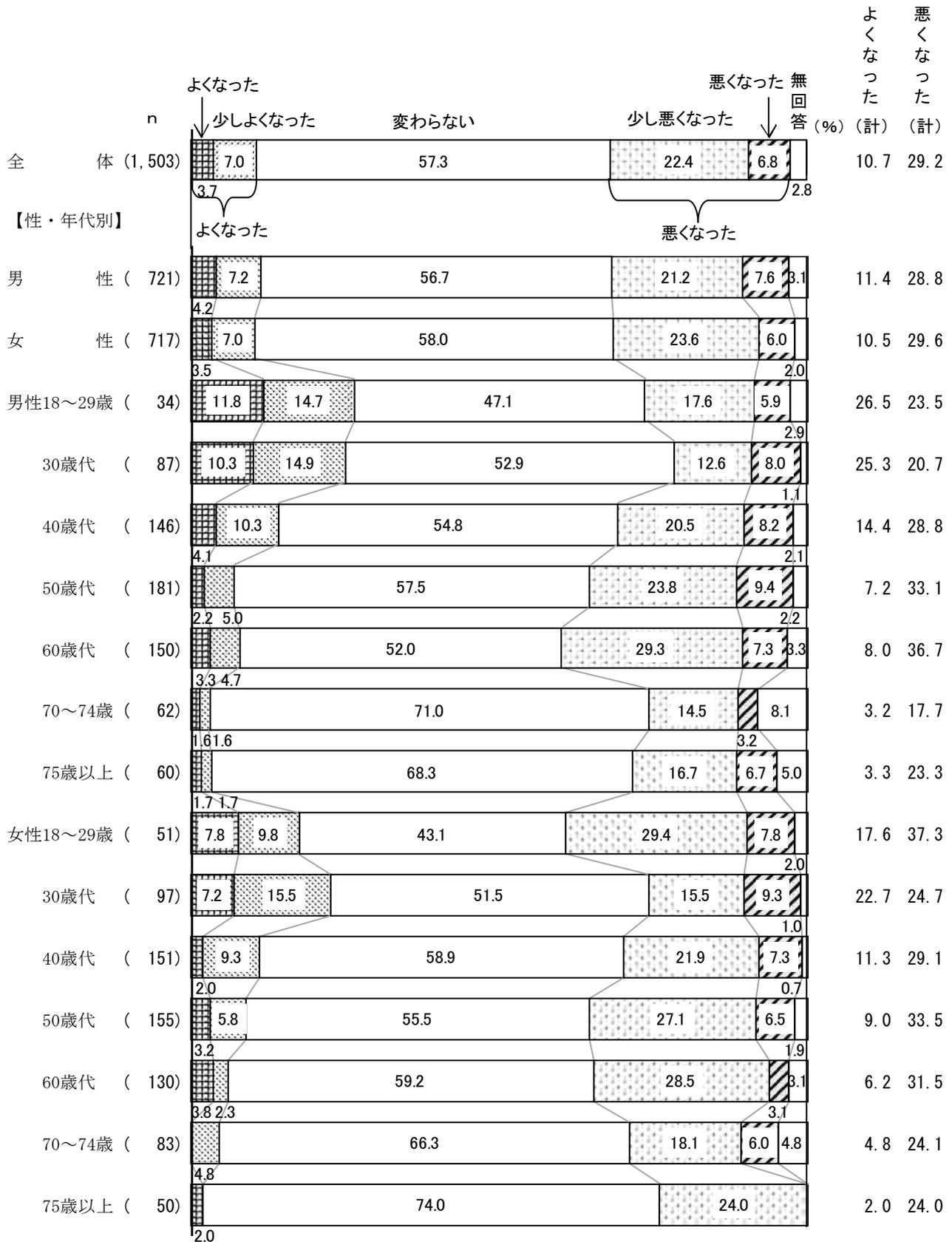


図表1-2-6 暮らし向きが悪くなった理由（複数回答）－地域別

(%)

	n	賃金などの収入が減ったため	日常生活費が増えたため	教育費が増えたため	産、特別の事情による（結婚、出産、病気など）	低金利が続いているため	倒産・解雇などのため	事業などの経費が増えたため	住宅を購入したため	その他	特に理由はない、分からない	無回答
全 体	439	63.3	37.8	15.3	12.5	5.9	3.4	2.5	1.4	13.9	2.1	-
【地 域 別】												
横 浜	169	59.8	40.2	17.2	11.2	5.9	4.1	1.8	0.6	17.2	1.8	-
川 崎	52	63.5	28.8	7.7	13.5	5.8	5.8	-	1.9	15.4	-	-
相 模 原	30	56.7	40.0	23.3	26.7	10.0	3.3	-	3.3	6.7	-	-
横須賀三浦	37	64.9	43.2	8.1	16.2	5.4	2.7	2.7	2.7	21.6	2.7	-
県 央	46	78.3	32.6	19.6	10.9	2.2	4.3	4.3	-	8.7	4.3	-
湘 南	72	66.7	33.3	13.9	6.9	8.3	1.4	1.4	2.8	12.5	2.8	-
県 西	16	68.8	50.0	6.3	18.8	6.3	-	12.5	-	-	6.3	-

図表1-2-7 暮らし向きの変化－性・年代別



図表1-2-8 暮らし向きが悪くなった理由（複数回答）－性・年代別

(%)

	n	賃金などの収入が減ったため	日常生活費が増えたため	教育費が増えたため	産、特別の事情による（結婚、出産、病気など）	低金利が続いているため	倒産・解雇などのため	事業などの経費が増えたため	住宅を購入したため	その他	特に理由はない、分からない	無回答
全 体	439	63.3	37.8	15.3	12.5	5.9	3.4	2.5	1.4	13.9	2.1	-
【性・年代別】												
男 性	208	67.8	35.6	15.4	8.7	6.7	1.9	2.4	1.0	14.4	1.9	-
女 性	212	61.3	38.2	14.6	16.5	5.7	5.2	1.9	1.9	14.2	2.4	-
男性18～29歳	8	62.5	37.5	-	-	12.5	-	-	-	12.5	-	-
30歳代	18	77.8	33.3	11.1	16.7	-	11.1	5.6	-	22.2	-	-
40歳代	42	59.5	47.6	38.1	9.5	2.4	-	4.8	-	21.4	-	-
50歳代	60	71.7	36.7	21.7	8.3	8.3	-	1.7	1.7	15.0	1.7	-
60歳代	55	76.4	21.8	1.8	5.5	5.5	3.6	1.8	-	10.9	1.8	-
70～74歳	11	72.7	36.4	-	-	27.3	-	-	9.1	-	-	-
75歳以上	14	28.6	50.0	-	21.4	7.1	-	-	-	7.1	14.3	-
女性18～29歳	19	52.6	47.4	10.5	15.8	5.3	31.6	5.3	10.5	15.8	5.3	-
30歳代	24	54.2	29.2	16.7	20.8	-	8.3	4.2	-	20.8	4.2	-
40歳代	44	59.1	31.8	34.1	13.6	-	-	-	2.3	18.2	-	-
50歳代	52	67.3	48.1	17.3	19.2	11.5	3.8	1.9	-	15.4	3.8	-
60歳代	41	65.9	34.1	2.4	17.1	9.8	2.4	-	2.4	7.3	2.4	-
70～74歳	20	60.0	30.0	-	20.0	5.0	-	5.0	-	10.0	-	-
75歳以上	12	58.3	50.0	-	-	-	-	-	-	8.3	-	-

### 3 今後の暮らし向きの見通し【問3】

#### 【全体の状況】

今後の暮らし向きの見通しを尋ねたところ、「明るい」(4.8%)と「やや明るい」(10.6%)を合わせた《明るい》は15.4%であった。

一方、「暗い」(8.0%)と「やや暗い」(24.8%)を合わせた《暗い》は32.7%となり、《暗い》が《明るい》を17.3ポイント上回った。

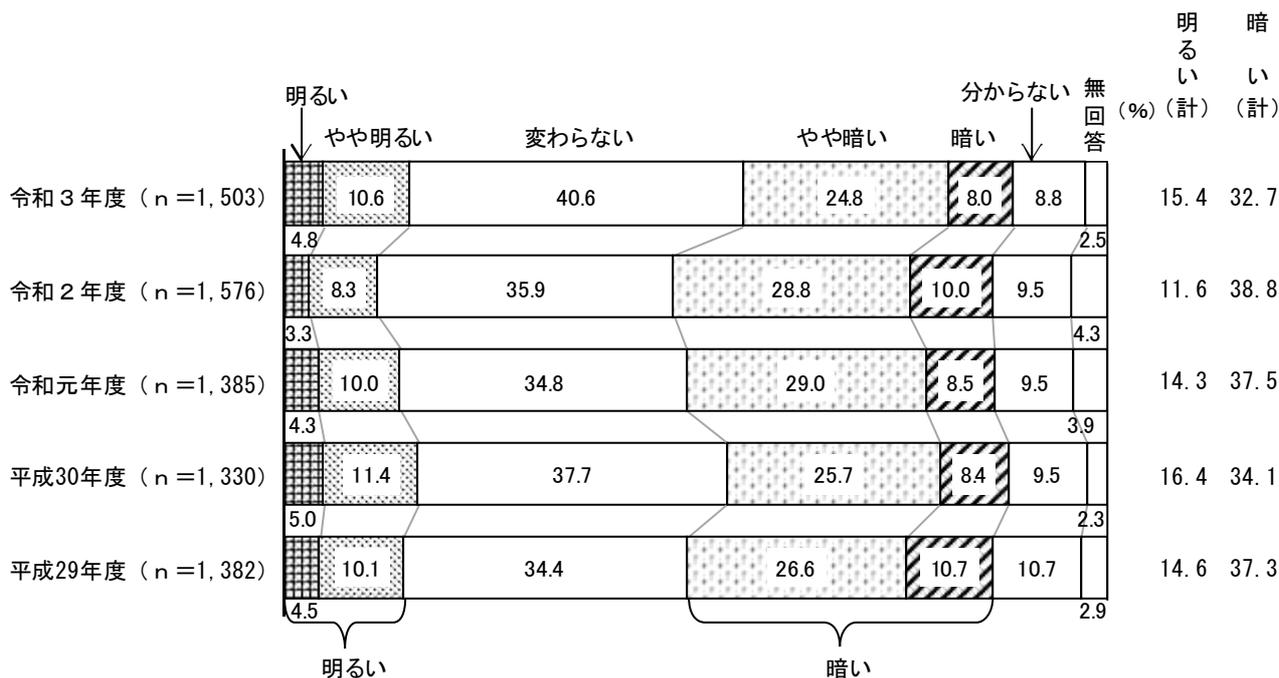
また、「変わらない」は、40.6%であった。(図表1-3-1)

#### 【過去との比較】

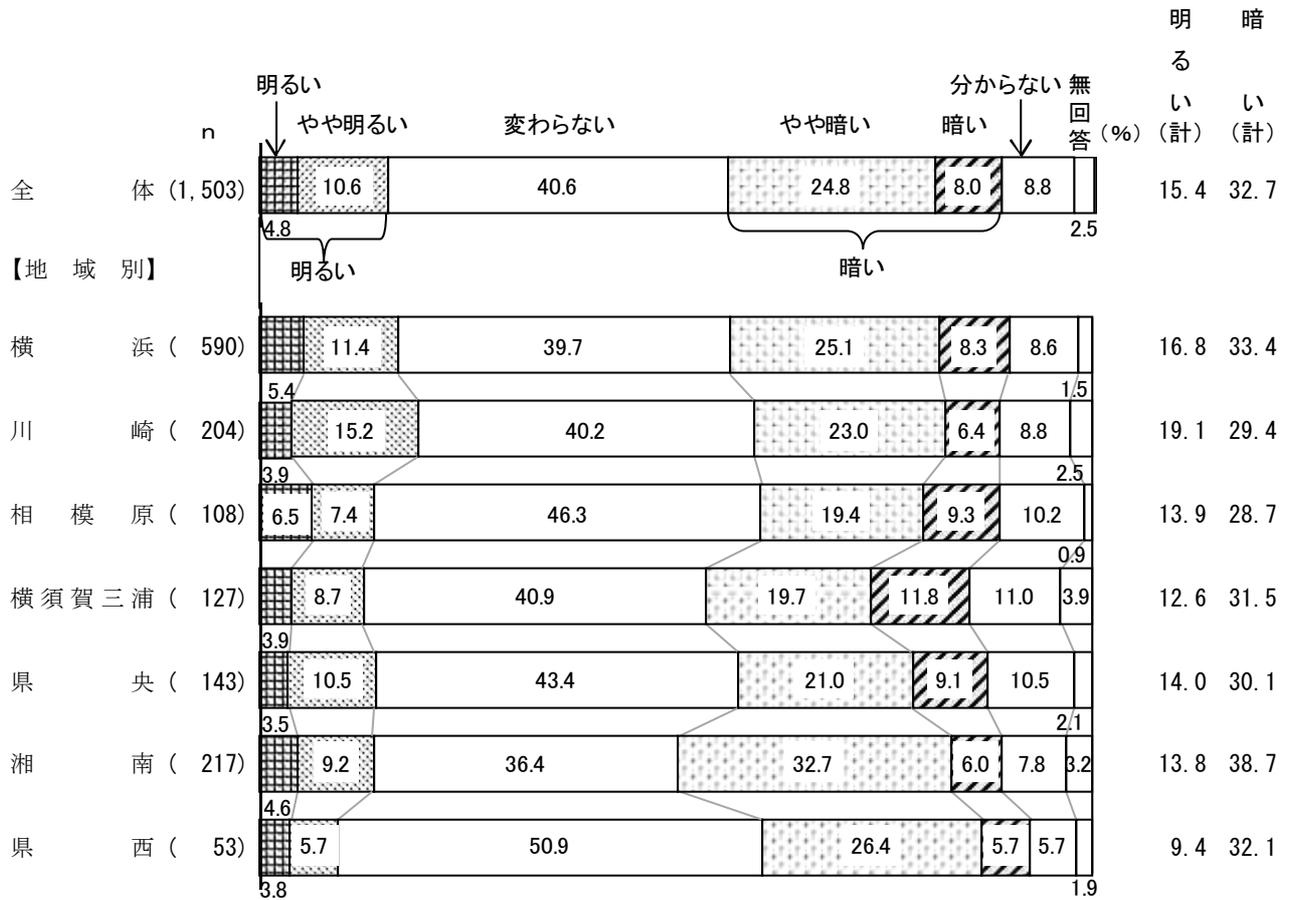
過去の調査と比較すると、《明るい》は、令和2年度は令和元年度と比べて2.7ポイント減(14.3%→11.6%)で、令和3年度は令和2年度と比べて3.8ポイント増(11.6%→15.4%)となった。

一方、《暗い》は、令和2年度は令和元年度と比べて1.3ポイント増(37.5%→38.8%)で、令和3年度は令和2年度と比べて6.1ポイント減(38.8%→32.7%)となった。(図表1-3-1)

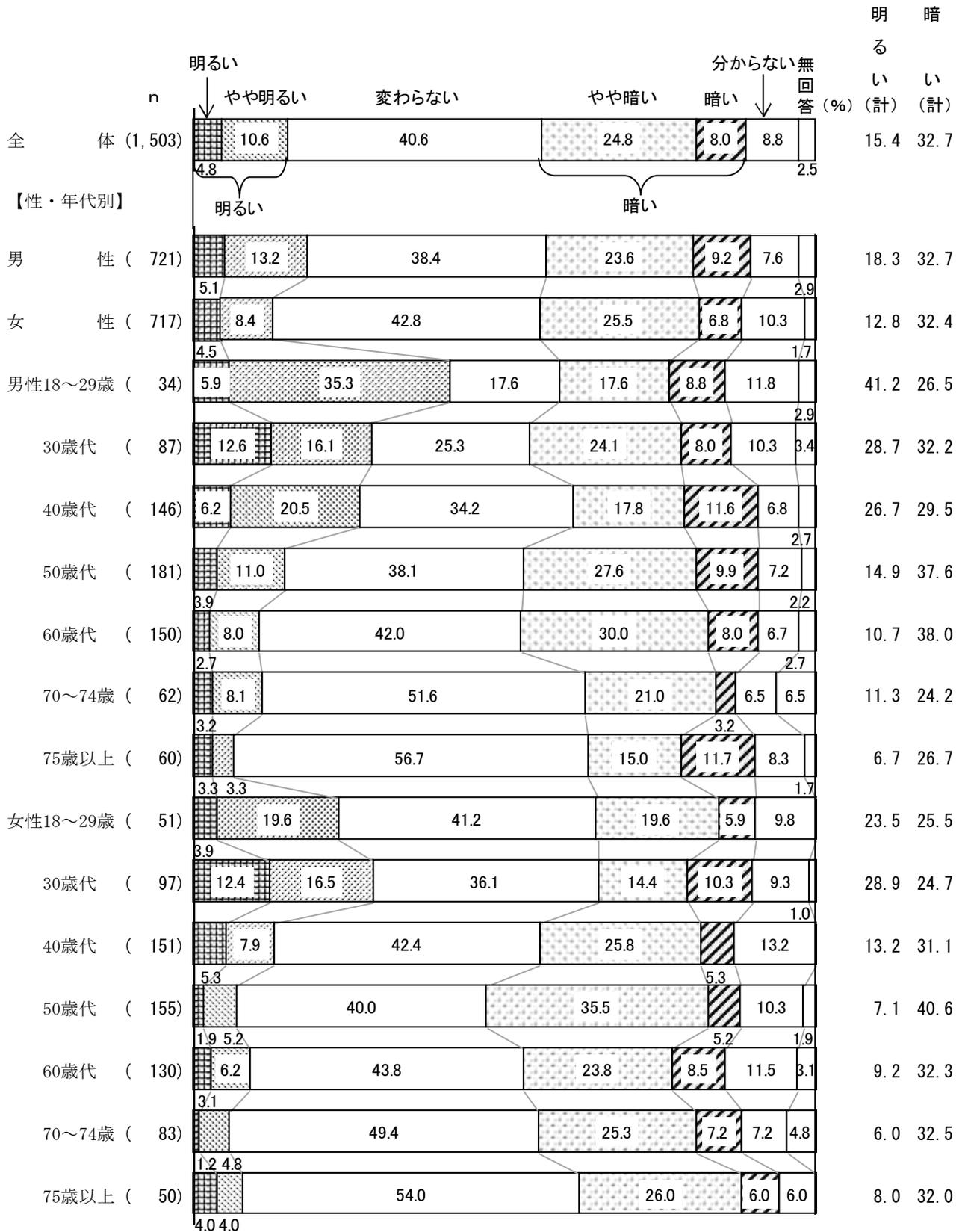
図表1-3-1 今後の暮らし向きの見通し—過去との比較



図表1-3-2 今後の暮らし向きの見通し—地域別



図表1-3-3 今後の暮らし向きの見通し－性・年代別



#### 4 地域の住みよさ【問4】

##### 【全体の状況】

現在住んでいる地域の住みよさについて尋ねたところ、「たいへん住みよい」(17.5%)と「どちらかといえば住みよい」(57.6%)を合わせた《住みよい》は75.0%であった。

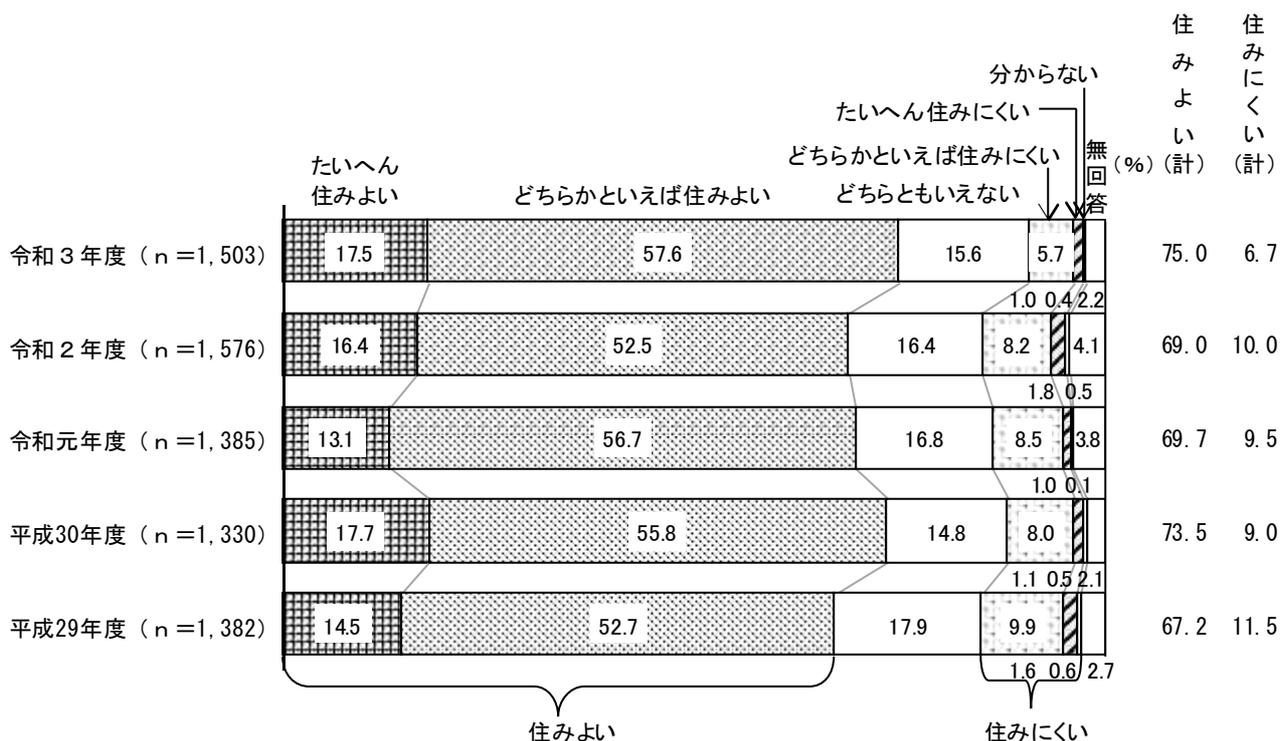
一方、「たいへん住みにくい」(1.0%)と「どちらかといえば住みにくい」(5.7%)を合わせた《住みにくい》は6.7%で、《住みよい》が《住みにくい》を68.3ポイント上回った。(図表1-4-1)

##### 【過去との比較】

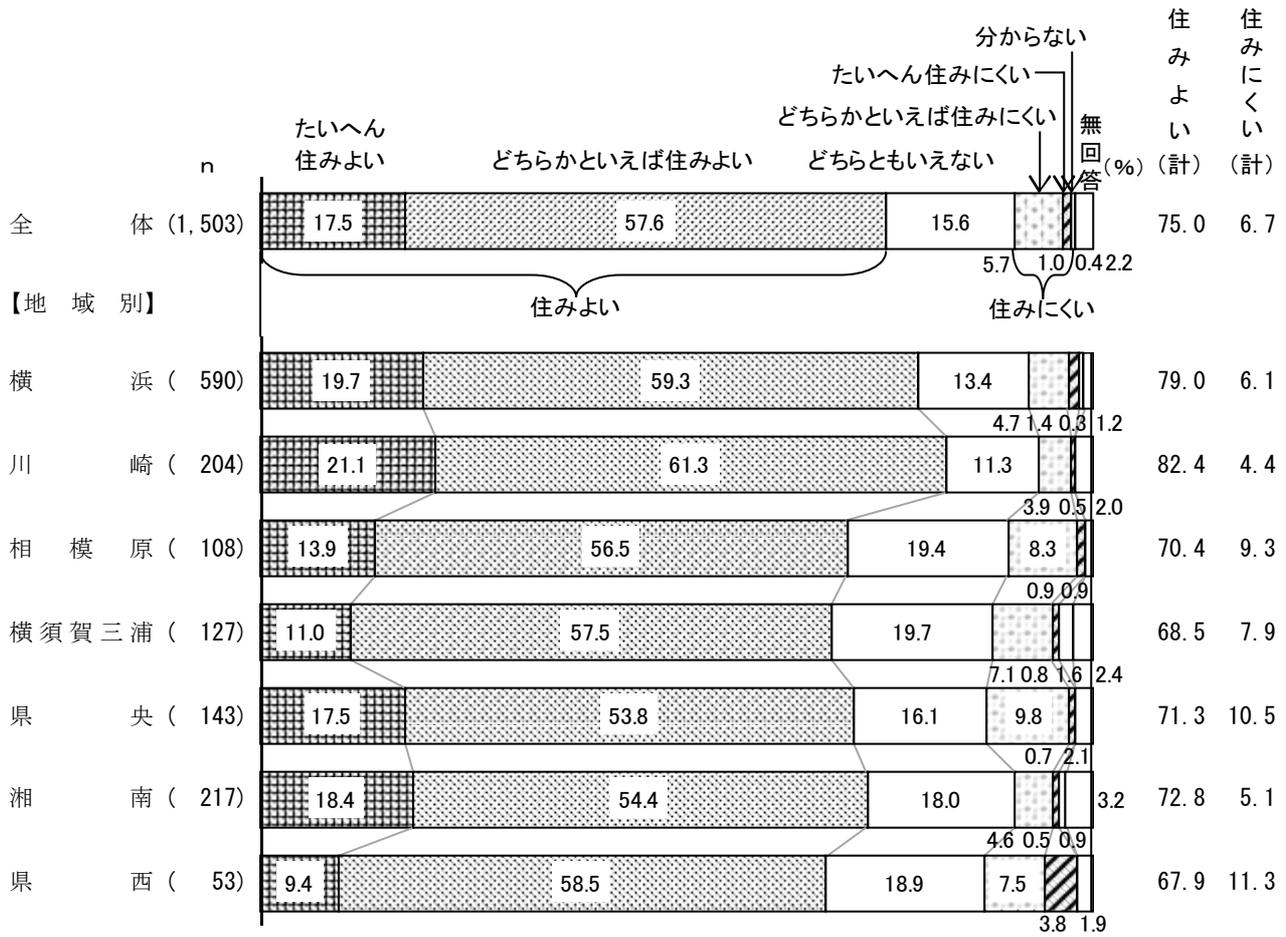
過去の調査と比較すると、《住みよい》は、令和2年度は令和元年度と比べて0.7ポイント減(69.7%→69.0%)で、令和3年度は令和2年度と比べて6.0ポイント増(69.0%→75.0%)となった。

一方、《住みにくい》は、令和2年度は令和元年度と比べて0.5ポイント増(9.5%→10.0%)で、令和3年度は令和2年度と比べて3.3ポイント減(10.0%→6.7%)となった。(図表1-4-1)

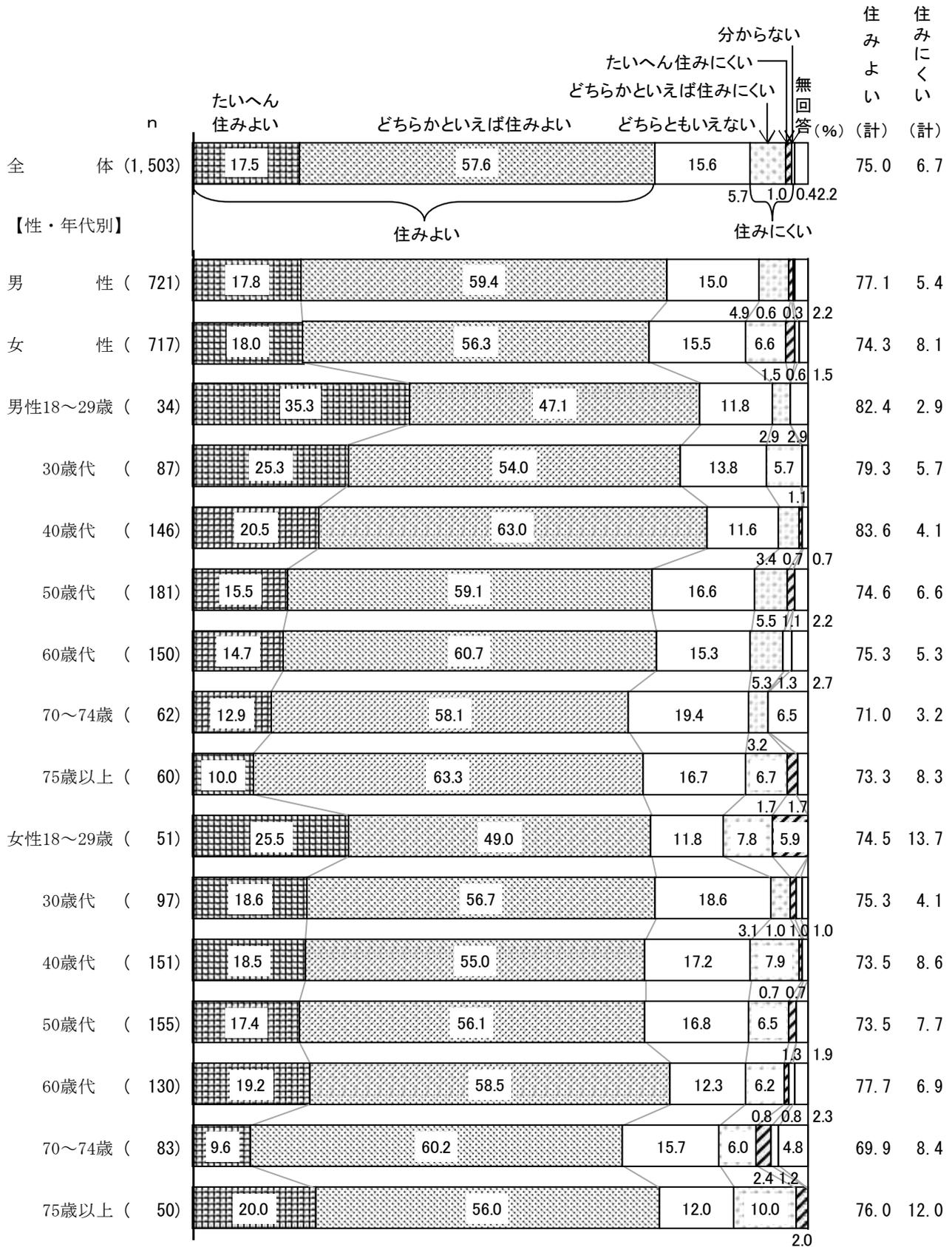
図表1-4-1 地域の住みよさー過去との比較



図表1-4-2 地域の住みよさ—地域別



図表1-4-3 地域の住みよさ—性・年代別



## 5 定住意向【問5】

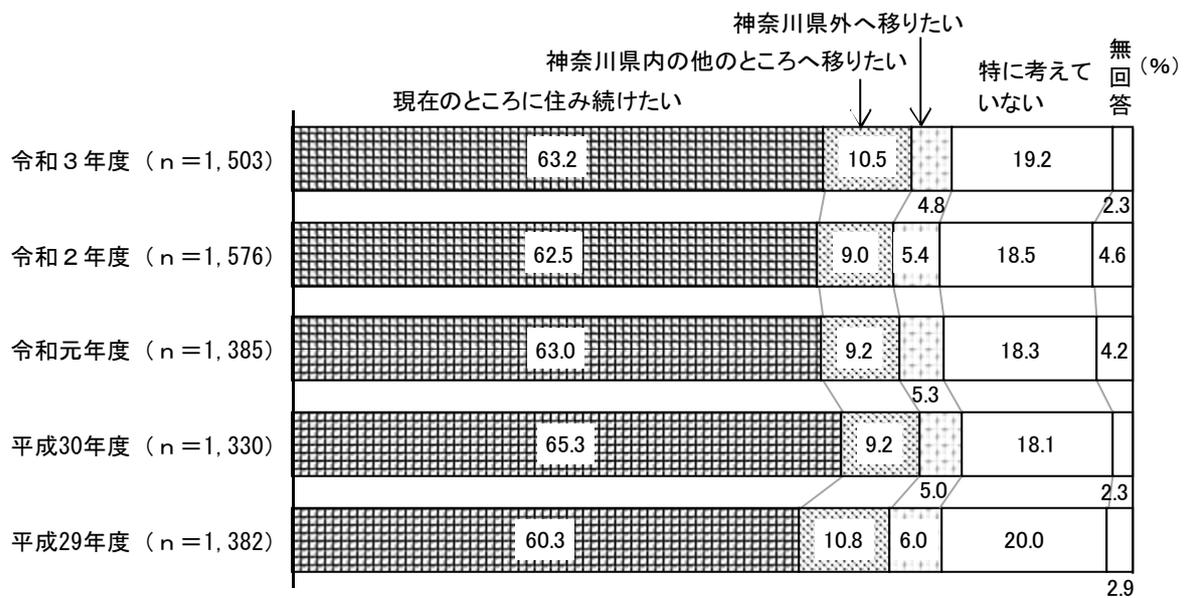
### 【全体の状況】

今後も現在のところに住み続けたいか尋ねたところ、「現在のところに住み続けたい」が63.2%で最も多かった。また、「神奈川県外へ移りたい」は、4.8%であった。（図表1-5-1）

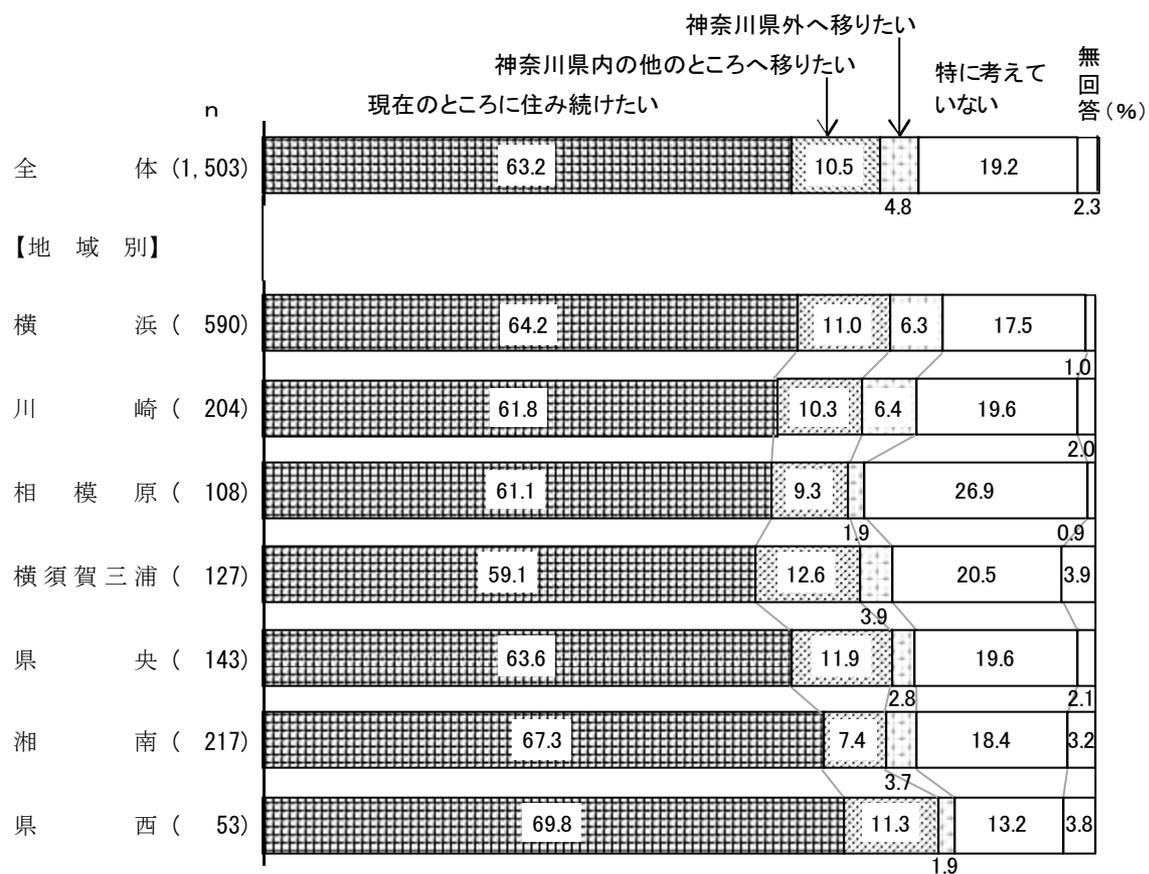
### 【過去との比較】

過去の調査と比較すると、「現在のところに住み続けたい」は、令和2年度は令和元年度と比べて0.5ポイント減（63.0%→62.5%）で、令和3年度は令和2年度と比べて0.7ポイント増（62.5%→63.2%）となった。（図表1-5-1）

図表1-5-1 定住意向—過去との比較



図表1-5-2 定住意向—地域別



図表1-5-3 定住意向—性・年代別

